

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 エスピー食品株式会社

コード番号 2805 URL <http://www.sbfoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 博行

問合せ先責任者 (役職名) 管理サポートグループ財経管理室 (氏名) 山崎 崇弘

TEL 03-3668-0551

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	106,849	4.1	5,746	48.8	5,683	33.6	3,334	14.5
28年3月期第3四半期	102,683	9.7	3,861	△8.9	4,253	△3.7	2,912	4.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 4,219百万円 (△10.5%) 28年3月期第3四半期 4,716百万円 (33.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	510.45	—
28年3月期第3四半期	432.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	110,359	37,331	33.8
28年3月期	104,799	34,703	33.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 37,331百万円 28年3月期 34,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
29年3月期	—	35.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,500	1.8	5,000	30.9	4,700	10.7	2,500	49.7	382.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	6,977,117 株	28年3月期	6,977,117 株
29年3月期3Q	626,031 株	28年3月期	398,467 株
29年3月期3Q	6,533,049 株	28年3月期3Q	6,734,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景として、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済・政治の不確実性の高まりや、為替相場の変動による企業収益への影響など、先行きについては不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、お客様の節約志向による個人消費の伸び悩みや市場構造の変化による競争激化から、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。おいしさの追求はもちろんのこと、高い品質と新たな価値を創出し、暮らしに役立つ製品を生み出すため、お客様視点での研究開発や製品開発を行うとともに、きめ細かな営業活動やスパイスとハーブの魅力をお伝えするための情報発信に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業において、即席カレーやチューブ製品などの主力製品が堅調に推移したこと、また、調理済食品では、前期5月の新工場稼働により販売製品が増加したこと、前年同期比41億66百万円増の1,068億49百万円（前年同期比4.1%増）となりました。利益面につきましては、食料品事業は、売上高の増加に加え、引き続き原価低減や経費削減に努めたことにより利益が増加し、また、調理済食品も、前年同期に発生した工場新設に伴う初期費用が無くなったことなどにより損失が縮小しましたことから、営業利益は前年同期比18億85百万円増の57億46百万円（同48.8%増）、経常利益は前年同期比14億30百万円増の56億83百万円（同33.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4億22百万円増の33億34百万円（同14.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、9ページ「4. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比17億40百万円増の929億20百万円（同1.9%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比9億70百万円増の62億36百万円（同18.4%増）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比24億25百万円増の139億28百万円（同21.1%増）となりました。セグメント損失（営業損失）は5億22百万円（前年同期はセグメント損失14億37百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して55億60百万円増加し、1,103億59百万円となりました。これは主に、売上債権の増加78億82百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して29億32百万円増加し、730億28百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加15億36百万円、借入金の増加9億51百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して26億27百万円増加し、373億31百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加28億78百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は33.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移いたしましたことから、平成28年10月31日に発表いたしました通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,746	15,487
受取手形及び売掛金	23,425	31,307
商品及び製品	5,541	5,491
仕掛品	1,995	1,931
原材料及び貯蔵品	6,709	6,571
その他	7,105	5,661
貸倒引当金	△2,708	△2,752
流動資産合計	59,815	63,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,455	11,759
機械装置及び運搬具（純額）	6,688	6,609
土地	8,563	8,429
その他（純額）	2,937	3,226
有形固定資産合計	29,644	30,025
無形固定資産	559	584
投資その他の資産		
投資有価証券	6,104	7,359
その他	8,997	9,013
貸倒引当金	△321	△322
投資その他の資産合計	14,780	16,050
固定資産合計	44,983	46,660
資産合計	104,799	110,359

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,615	11,508
短期借入金	22,747	24,755
未払法人税等	135	1,671
賞与引当金	1,080	584
その他	11,422	12,572
流動負債合計	47,000	51,092
固定負債		
長期借入金	13,857	12,801
退職給付に係る負債	6,877	6,841
資産除去債務	180	181
その他	2,178	2,110
固定負債合計	23,095	21,935
負債合計	70,095	73,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	27,144	30,022
自己株式	△1,792	△2,923
株主資本合計	32,433	34,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,660	2,465
土地再評価差額金	894	890
為替換算調整勘定	19	44
退職給付に係る調整累計額	△305	△250
その他の包括利益累計額合計	2,269	3,150
純資産合計	34,703	37,331
負債純資産合計	104,799	110,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	102,683	106,849
売上原価	61,043	63,197
売上総利益	41,640	43,652
販売費及び一般管理費		
販売促進費	23,018	23,069
その他	14,760	14,835
販売費及び一般管理費合計	37,778	37,905
営業利益	3,861	5,746
営業外収益		
受取利息	58	46
受取配当金	146	152
不動産賃貸料	25	27
貸倒引当金戻入額	525	—
為替差益	4	21
その他	108	149
営業外収益合計	867	396
営業外費用		
支払利息	438	428
貸倒引当金繰入額	0	2
その他	37	29
営業外費用合計	475	460
経常利益	4,253	5,683
特別利益		
固定資産売却益	636	13
受取補償金	—	9
補助金収入	300	—
その他	0	0
特別利益合計	936	23
特別損失		
固定資産売却損	285	69
固定資産除却損	174	122
貸倒損失	—	318
ゴルフ会員権評価損	4	—
貸倒引当金繰入額	5	0
関係会社整理損	137	155
その他	97	13
特別損失合計	703	680
税金等調整前四半期純利益	4,486	5,026
法人税、住民税及び事業税	431	1,686
法人税等調整額	1,142	5
法人税等合計	1,574	1,691
四半期純利益	2,912	3,334
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,912	3,334

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	2,912	3,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	804
土地再評価差額金	1,524	—
為替換算調整勘定	0	25
退職給付に係る調整額	24	54
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	1,803	884
四半期包括利益	4,716	4,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,716	4,219
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式227,300株を1,129百万円で取得いたしました。当第3四半期連結累計期間における自己株式は、主にこの取得により1,130百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は2,923百万円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	91,179	11,503	102,683	—	102,683
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	91,179	11,503	102,683	—	102,683
セグメント利益又は 損失 (△)	5,265	△1,437	3,827	33	3,861

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額33百万円は、セグメント間取引消去33百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、「その他」と表示しておりました「調理済食品」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,920	13,928	106,849	—	106,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	92,920	13,928	106,849	—	106,849
セグメント利益又は 損失 (△)	6,236	△522	5,713	33	5,746

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額33百万円は、セグメント間取引消去33百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	91,179	92,920	1,740	
スパイス&ハーブ	17,860	19,057	1,196	業務用香辛料、シーズニングスパイス (増加)
即席	25,764	26,354	590	即席カレー (増加)
香辛調味料	24,135	25,499	1,364	チューブ製品、中華製品 (増加)
インスタント食品その他	23,418	22,008	△1,410	米飯 (減少)
調理済食品	11,503	13,928	2,425	前期5月より新工場稼働 (増加)
計	102,683	106,849	4,166	